

健康そうじゃ21(第2次)素案に係る意見募集(パブリックコメント)の実施結果

1 意見募集の概要

素案の公表の方法	総社市のホームページに概要を掲載するとともに、総社市役所、各出張所で縦覧に供しました。
意見募集の期間	令和7年2月12日(水)から令和7年3月3日(月)まで
パブリックコメントの対象者	総社市内に在住か在勤、在学の人 上記のほか、パブリックコメントの手続きの対象となる事案について、利害関係を有する個人又は団体
意見の提出方法	住所、氏名、勤務先か学校名、連絡先か意見を記載し、郵送、電子メール、持参のいずれか

2 パブリックコメントの結果

意見提出者数 3名

意見提出件数 4件

NO	ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
	第3章 前期計画の評価		
1	21 ～ 25	①食育・栄養の【現状】の記述で、例えば、「朝食をほとんど毎日食べた割合：20代(68.3%)若者世代で低くなっています。」とあるが、30代や40代など他の世代の状況を記述して、比較できるようにするのはどうか。同様な観点で、21ページから25ページの記述を見直してはどうか。	ご意見のとおり、他の年代のアンケート結果等を記述するようにいたします。
	第5章 施策の展開		
2	30	個人の行動はこどもの頃からの習慣が大きな影響を与えていると思う。そうした意味で、こどもに関する目標値を多く掲げていることは良いことだと思う。	ご意見のとおり、幼少期からの生活習慣は、生涯にわたる健康に影響するものと考えております。本計画では、こどもに関する健康づくりはもちろんのこと、ライフコースアプローチの観点から、各ライフステージに特有の健康づくりについても取り組んでまいります。
3	60	退職した後も、趣味のコミュニティや社会活動に参加して生き生きと過ごすことは、老後の心と身体健康増進につながり、ひいては健康寿命を延ばすことにもつながると思う。 数値目標「地域の人々とのつながりが強いと思う人の増加」について、明確な数値目標を設定しても良いのではないかと考える。	ご意見のとおり、社会とのつながりを持つことは、精神的健康、生活習慣、死亡リスク等により影響を与えることが分かっており、社会とのつながりが、質・量ともに多いことが健康にとってよいと考えております。 一方で、地域とのつながりが強いかどうかと感ずるのは、個人の主観によるところが大きいこと、また、地域とのつながりが強いと感じる人がどの程度多ければ、個人の健康状態に好影響を与えているのか確固たるものが得られていないため、目標値は増加としております。 今後、様々な知見から、具体的な目標数値を導き出せるかどうか検討してまいります。

	その他	
4	<p>急速に進む少子化に対応できるような「健康そうじゃ21(第2次)」を進める必要がある。</p> <p>低出生体重児で出生すると、小児期の数多くの合併症や疾患の原因となり、医療的ケア児や発達障がいの割合も高率になるため、低出生体重児にならないよう、女児・女性の健康状態・生活状況の改善を行い、その割合を減少させる必要がある。</p> <p>教育、保育及び医療機関の担い手の高齢化や減少により、従来の制度で成り立たなくなっているため、市独自で保育・養育、母子保健、母子医療、母子福祉を進めていく必要がある。</p> <p>地域のこどもに関わる多職種が協働し、子どもと思春期、青年期、子育て世代の心理面と社会的なサポートの指標を改善・充実する必要がある。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。いただきましたご意見を踏まえ、今後の施策に取り組んでまいります。</p>